



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社レアジョブ 上場取引所 東  
 コード番号 6096 URL <https://www.rarejob.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 岳  
 問合せ先責任者(役職名) 財務戦略本部長 CFO (氏名) 牧 泰亮 (TEL) 03-5468-7401  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA ※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,408	△3.8	694	△28.1	462	△26.1	449	△26.3	294	△44.7
2024年3月期第3四半期	7,703	76.5	965	132.3	625	253.6	610	165.6	533	225.6

※EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 274百万円(△51.0%) 2024年3月期第3四半期 559百万円(375.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	31.06	—	—	—
2024年3月期第3四半期	56.47	—	56.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,234	—	1,995	—	32.0	—
2024年3月期	6,256	—	1,833	—	29.0	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,995百万円 2024年3月期 1,811百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	0.00	—	13.00	—	13.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	—	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,700	△4.7	739	△35.5	400	△42.6	380	△45.8	160	—	16.81	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	9,845,600株	2024年3月期	9,845,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	333,269株	2024年3月期	388,651株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	9,482,024株	2024年3月期3Q	9,439,192株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における国内経済は、訪日外国人数の増加に伴うインバウンド需要が引き続き好調で、年末年始需要などのプラス要因があったものの、異常気象による食品価格の高騰、かねてからの資源・原材料価格、人件費の高騰による物価高に拍車がかかり、消費者レベルでは生活費を圧迫する大きな打撃となっております。

こうした外的要因の影響によって、日本人出国者数は増加傾向にあるものの、いまだコロナ禍前の水準には至っておりません。世帯レベルの消費支出でも「教育」「教養娯楽」が減少傾向にあり、個人での海外渡航やそのための英語学習への投資は、優先順位が上がりづらい状況が続いております。さらには、昨今のAIの爆発的な進化に伴い、翻訳ツールなどの精度が急激に高度化してきました。その結果、あえて「人が話す」ことの必要性や、英語学習に対する価値観そのものが本質的に変化する可能性も見込まれます。

しかしながら、日本では超少子高齢化による国内市場の縮小や労働人口減少が確実視されており、持続的な経済成長のためには、企業のグローバル展開や外国人材の積極採用が不可欠です。また、深刻なエンジニア不足などに直面している業界や企業では、部門や拠点単位で社内公用語を英語にする、フルリモートで海外在住の人材を採用するといったケースも増えています。

日本企業を取り巻く環境に多様な変化が起こるとしても、オフライン・オンラインを問わず人が集って働くビジネスシーンにおいて、コミュニケーションツールとしての英語が不要になることはありません。したがって、中長期的には、英語を使って国内外問わず活躍できる人材のニーズと連動し、英語学習ニーズもより一層高まっていくと想定されます。

当社グループのリスキリング事業では、主にビジネスパーソンに対して「英語を話せるようになる」という成果に繋がるサービス提供を行っております。個人向けサービスは「レアジョブ英会話」を中心に認知向上施策に努め、サービスの拡大及び品質向上に取り組んでおります。また、AIは当社サービスの進化を加速させる推進力でもあります。累計66万人以上の受験数を数えるAIスピーキングテスト「PROGOS<sup>®</sup>」の他、レッスンの復習を効率化させる「AIレッスンレポートβ」や、AI講師とチャット形式で学べる「AI英会話β」、行政書士講座の記述式問題の解答に対して、AIが自動で採点・添削を行うAI「記述式」添削など、学習体験の向上や成果創出に向けてAIを積極活用したプロダクトやサービスを開発・提供し、他社優位性の確立と競争力強化を図っております。

一方、教育現場においても英語に関する課題は少なくありません。世帯ごとの教育支出の格差、都市部と地方部での教育機会の格差といった社会課題の中でも、次世代を担う子どもたちにとって英語習得の重要性は今後さらに高まっていくと見込まれるからこそ、課題解消の手立てが望まれています。

当社グループの子ども・子育て支援事業では、学校向け・個人向けにオフライン及びオンラインの英語関連サービスを提供しております。教育現場で外国語教育の授業を英語面でサポートするALT派遣のニーズも拡大しており、当社グループの主要サービスであるALT派遣は堅調に推移しております。さらなる事業拡大に向けては、営業活動の強化に加え、安定した講師供給に裏打ちされたサービス品質の安定が欠かせません。そこで、営業エリアの拡大と並行してフィリピンにおける講師ネットワークの活用他、パキスタン政府と連携したALT供給体制を構築するなど、事業拡大の基盤づくりを図っております。加えて、放課後の教室や自宅でも新学習指導要領ベースの教材でオンライン学習ができる「ボーダーリンク英会話」も提供しております。オフラインとオンラインを組み合わせたサービス提供というソリューション提案によって他社優位性の確立を図ると同時に、世帯や居住地域などに起因する教育機会の格差解消にも貢献しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は7,408,433千円と前年同期比294,908千円(△3.8%)の減収、EBITDAは694,833千円と同270,980千円(△28.1%)の減益、営業利益は462,193千円と同163,652千円(△26.1%)の減益、経常利益は449,917千円と同160,874千円(△26.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は294,548千円と同238,455千円(△44.7%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

リスキリング事業

当第3四半期連結累計期間において、依然として個人向けのオンライン英会話サービスの需要が鈍化しており、売上高は3,604,767千円と前年同期比324,110千円(△8.2%)の減収となりました。引き続き認知度向上を目的とした投資を継続していることから、セグメント利益は388,305千円と同262,766千円(△40.4%)の減益となっております。

子ども・子育て支援事業

当第3四半期連結累計期間において、当社グループではALT派遣サービスが順調に推移したことにより、売上高は3,803,666千円と前年同期比29,202千円(0.8%)の増収となりました。その結果、セグメント利益は266,708千円と同34,280千円の増益(14.7%)となっております。

また、当社グループのEBITDAは営業利益+減価償却費+のれん償却額で算出しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ21,377千円減少し、6,234,988千円となりました。これは主に、売掛金が137,307千円増加した一方、ソフトウェアが91,298千円、のれんが63,835千円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比べ182,833千円減少し、4,239,910千円となりました。これは主に、未払費用が156,899千円増加した一方、長期借入金が248,526千円、未払消費税等が105,262千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ161,456千円増加し、1,995,078千円となりました。これは主に、利益剰余金が171,607千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、最近の動向及び今後の見通し等を勘案し、2024年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,664,124	2,693,180
売掛金	661,675	798,983
前払費用	108,769	141,525
デリバティブ債権	57,597	38,511
その他	108,848	126,355
流動資産合計	3,601,015	3,798,557
固定資産		
有形固定資産		
建物	117,967	94,327
減価償却累計額	△53,239	△49,259
建物(純額)	64,728	45,068
工具、器具及び備品	196,941	193,607
減価償却累計額	△149,045	△154,280
工具、器具及び備品(純額)	47,895	39,326
車両運搬具	25,450	24,716
減価償却累計額	△19,944	△21,286
車両運搬具(純額)	5,506	3,429
使用権資産	43,712	24,096
減価償却累計額	△30,109	△11,423
使用権資産(純額)	13,602	12,673
有形固定資産合計	131,733	100,497
無形固定資産		
商標権	2,075	1,893
ソフトウェア	389,022	297,724
ソフトウェア仮勘定	18,534	34,216
のれん	980,420	916,585
顧客関連資産	888,959	861,179
その他	622	622
無形固定資産合計	2,279,635	2,112,222
投資その他の資産		
投資有価証券	2,601	2,649
敷金	121,736	117,737
繰延税金資産	101,368	86,963
その他	18,274	16,360
投資その他の資産合計	243,981	223,712
固定資産合計	2,655,350	2,436,431
資産合計	6,256,365	6,234,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	331,368	331,368
リース債務	6,829	9,762
未払金	234,223	189,573
未払費用	467,406	624,305
未払法人税等	63,733	66,344
未払消費税等	228,223	122,960
前受金	483,315	537,624
預り金	39,284	81,616
賞与引当金	85,536	50,289
その他	32,873	31,405
流動負債合計	1,972,794	2,045,250
固定負債		
長期借入金	2,088,496	1,839,970
退職給付に係る負債	30,777	35,448
リース債務	6,466	3,593
資産除去債務	3,073	4,259
繰延税金負債	320,370	311,187
その他	765	200
固定負債合計	2,449,949	2,194,659
負債合計	4,422,744	4,239,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	657,207	657,207
資本剰余金	641,113	621,680
利益剰余金	700,095	871,703
自己株式	△278,626	△227,196
株主資本合計	1,719,790	1,923,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293	326
繰延ヘッジ損益	56,979	37,919
為替換算調整勘定	28,915	27,325
退職給付に係る調整累計額	5,832	6,103
その他の包括利益累計額合計	92,020	71,675
新株予約権	21,807	—
非支配株主持分	2	7
純資産合計	1,833,621	1,995,078
負債純資産合計	6,256,365	6,234,988

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,703,341	7,408,433
売上原価	4,309,036	4,259,810
売上総利益	3,394,305	3,148,623
販売費及び一般管理費	2,768,459	2,686,429
営業利益	625,845	462,193
営業外収益		
受取利息	1,247	2,460
受取手数料	8,345	10,339
補助金収入	3,567	1,000
その他	2,272	2,178
営業外収益合計	15,432	15,979
営業外費用		
支払利息	12,131	12,675
為替差損	10,590	12,374
持分法による投資損失	4,474	—
違約金	—	2,000
その他	3,289	1,204
営業外費用合計	30,486	28,254
経常利益	610,791	449,917
特別利益		
固定資産売却益	1,469	2,697
新株予約権戻入益	13,386	21,807
段階取得に係る差益	11,748	—
関係会社株式売却益	—	11,100
事業整理益	3,577	—
特別利益合計	30,182	35,605
特別損失		
固定資産売却損	—	765
固定資産除却損	3,697	15,783
保険解約損	5,331	—
事業再編損	20,480	—
事業撤退損	7,000	—
投資有価証券評価損	12,388	—
減損損失	—	20,355
特別損失合計	48,897	36,905
税金等調整前四半期純利益	592,076	448,618
法人税、住民税及び事業税	121,596	149,529
法人税等調整額	△62,524	4,540
法人税等合計	59,071	154,069
四半期純利益	533,004	294,549
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	533,003	294,548

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	533,004	294,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,287	33
繰延ヘッジ損益	10,795	△19,060
為替換算調整勘定	12,160	△1,589
退職給付に係る調整額	879	271
その他の包括利益合計	26,123	△20,345
四半期包括利益	559,127	274,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559,126	274,203
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	リスキリング 事業	子ども・子育て 支援事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,928,878	3,774,463	7,703,341	—	7,703,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	827	16,846	17,673	△17,673	—
計	3,929,705	3,791,310	7,721,015	△17,673	7,703,341
セグメント利益	651,071	232,428	883,500	△257,654	625,845

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
また、セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	リスキリング 事業	子ども・子育て 支援事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,604,767	3,803,666	7,408,433	—	7,408,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157	1,004	1,161	△1,161	—
計	3,604,924	3,804,670	7,409,595	△1,161	7,408,433
セグメント利益	388,305	266,708	655,014	△192,820	462,193

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
また、セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	215,019	168,804
のれんの償却額	124,948	63,835

(重要な後発事象)

該当事項はありません。